

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

【慣行農法との比較】

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
メリット青	葉面散布 特殊リン酸(ポリリン酸)	(株)生科研	7	0	5	0	3	0	100	生育促進	2L							
産直有機入り 6-8-3	長崎県肥第556号、副産動物質肥料、6.0フィッシュリプル	長崎油飼工業(株)	6	0	8	0	3	0	100	元肥	200	播種時						
カキライム	牡蠣殻100%	日化工業(株)		0					100	元肥	200	播種時						
苦土石灰	熊本県肥料1268号・炭酸カルシウム(7%が55%、可溶性苦土10%)	熊本礦業(株)		0					100	元肥	150	播種時						
オーガニック 7-4-2	フィッシュドリップル、脱脂米糠	高砂飼料工業(株)	7	0	4	0	2	0	100	元肥		播種時		120	7/10	1	0.0	
堆肥	自家製稲わら、落葉、近隣の牛糞、豚糞、鶏糞等	自家製		0					100	元肥	3~4t	播種時						

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	5	削減
化学肥料	窒素使用量(kg/10a)	
慣行使用量	20	
計画使用量	10	

*節減対象農薬

当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	4	10

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	ダニロンフロアブル	フェンピロキシメート	岩永政信さん	ハダニ	1000~2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	9/10	1	1	1	1
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド	岩永政信さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000~3000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	9/10	1	1	2	2
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール	岩永政信さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	10/8	1	1	3	3
殺虫	コロマイト乳剤	ミルバメクチン	岩永政信さん	ハダニ	1500	100~300L	収穫前日まで		0	1500	100L	10/8	1	0	2	2
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール	金井圭司さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	200L	9/26	1	1	3	3
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド	高橋和秀さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000~3000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	40L	10/24	1	1	2	2
殺菌	アフエットフロアブル	ペンチオピラド	小川卓也さん	サビ病、灰色かび病、菌核病	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	267L	9/30	1	1	3	3
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド	小川卓也さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000~3000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	267L	9/30	1	1	2	2
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド	中村元治さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000~3000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	9/1	1	1	2	2
殺菌	アフエットフロアブル	ペンチオピラド	中村元治さん	サビ病、灰色かび病、菌核病	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	9/9	1	1	3	3
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール	中村元治さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	10/4	1	1	3	3
殺虫	ダニロンフロアブル	フェンピロキシメート	中村元治さん	ハダニ	1000~2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	100L	10/28	1	1	1	1
殺虫	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	中村忠保さん	マメハモグリバエ、ダニ	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	250L	9/24	1	1	2	2
殺菌	アフエットフロアブル	ペンチオピラド	中村忠保さん	サビ病、灰色かび病、菌核病	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	250L	9/24	1	1	3	3
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール	飛永恒宏さん	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000	100~300L	収穫前日まで		1	2000	125L	10/28	1	1	3	3

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績					
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg		

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限					
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分				
殺虫	アフーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		マメハモグリバエ、ダニ	2000	100～300L	収穫前日まで		1							2	2			
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール		ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000	100～300L	収穫前日まで		1							3	3			
殺虫	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート		ハダニ	1000～2000	100～300L	収穫前日まで		1							1	1			
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		コナジラミ類	4000	100～300L	収穫前日まで		1							3	3			
殺菌	アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン		菌核病、灰色かび病	2000	100～300L	収穫前日まで		1							3	3			
殺虫	アフェットフロアブル	ベンチオピラド		サビ病、灰色かび病、菌核病	2000	100～300L	収穫前日まで		1							3	3			
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド		ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	2000～3000	100～300L	収穫前日まで		1							2	2			
殺虫	コロマイト乳剤	ミルベメクチン		ハダニ	1500	100～300L	収穫前日まで		0							2	2			

備考:

肥料は、リストの肥料の中から、化成窒素10kg以下に抑えて使用します。
 農薬は、リストの農薬の中から、最大成分数4回までに抑えて使用します。
 ガイドライン表示には、5割減、5割減で表示します。

肥料の実績は、中村元治さんの圃場 6-44 のものです。肥料は、これ以上の使用はありません。
 農薬実績 岩永政信さん 3回、金井圭司さん 1回、高橋和秀さん 1回、小川卓也さん 2回
 中村元治さん 4回、中村忠保さん 2回、飛永恒宏さん 1回
 2024/11/1現在。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月	元肥	
8月	播種、元肥	播種 8/6～
9月	播種、収穫、防除	播種 ～9/25、収穫 9/20～
10月	収穫	収穫
11月	収穫 ～11/上	
12月		

播種開始:	令和6年8月6日
終了:	令和6年9月25日
定植開始:	-
終了:	-
収穫開始:	令和6年9月20日
終了:	令和6年11月初旬